

## 【九州広域復興支援ファンド】 エディットフォース株式会社に対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構(略称 REVIC)が九州地方の地域金融機関等と共同で設立した「九州広域復興支援ファンド」(以下、「本ファンド」という。)は、エディットフォース株式会社(以下、「エディットフォース」という。)に対し投資を実行しましたので、お知らせいたします。

なお、本件は、本ファンドの第22号投資案件となります。

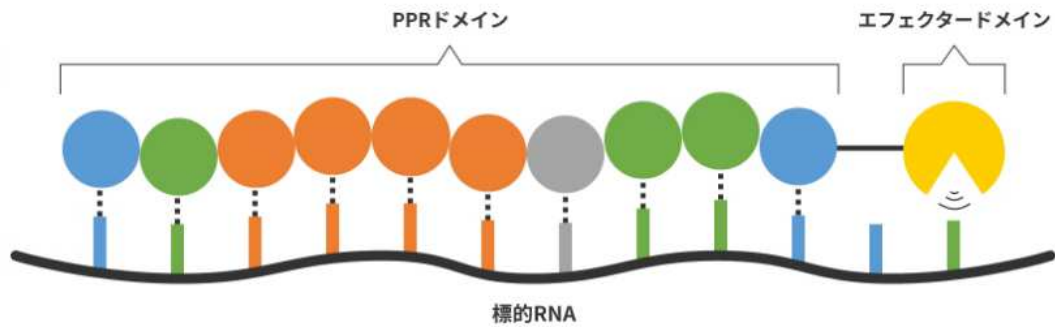
エディットフォースは、独自のゲノム編集技術を用いた創薬開発等を行う九州大学発バイオベンチャー企業です。当社は、九州大学・中村崇裕准教授(2023年現在は教授)の研究を基に2015年5月に設立され、2017年には、経済産業省より「地域未来牽引企業」に選出されています。

ゲノム編集とは、ゲノム(生物の遺伝情報)の中から特定の塩基配列を削除したり、別の配列を挿入したりすることで、生物の遺伝情報を改変することが可能な技術です。エディットフォースは、植物由来のPPR(Pentatricopeptide repeat)タンパク質がDNAもしくはRNAに結合するメカニズムを利用して、特定の塩基配列を認識し編集することが可能なPPRプラットフォーム技術を開発しました。従来のゲノム編集技術は主にDNAをターゲットとしていましたが、エディットフォースのPPRプラットフォーム技術ではオフターゲット(意図しない改変)のリスク軽減が見込まれるRNAをターゲットとすることが可能で、神経変性疾患、筋疾患、希少疾患などの領域で安全性が高く画期的な治療薬の開発を目指すと共に、農業、化学などの幅広い分野への応用が期待できます。

本ファンドでは、エディットフォースの研究開発の加速及び基盤技術の拡充を後押しすることとし、更なる研究開発体制の強化に必要な資金の一部を支援いたします。

今後も、本ファンドは九州地域の活性化を通じて、当地の復興に貢献するため、九州地域の事業者及び同地域の復興に資する事業者に対する投資を行ってまいります。

### 【PPRプラットフォーム技術を用いたRNA編集】



特定のRNAと結合する PPRドメインと、編集を担うエフェクタードメインを組み合わせることで、疾患の原因となるRNAを認識し修復することが可能

### 【投資先の概要】

企業名	エディットフォース株式会社
本社所在地	福岡県福岡市中央区
設立年月	2015年5月
代表者	小野 高
事業内容	ゲノム編集技術の開発
ホームページ	<a href="https://www.editforce.co.jp/">https://www.editforce.co.jp/</a>

### 【九州広域復興支援ファンドの概要】

機構ホームページをご参照ください。

<https://www.revic.co.jp/business/fund/06.html>

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構 <https://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援本部: TEL 03-6266-0590